

F1 第50回ジャパンカップ 矢村正杯争奪戦 in 久留米

熊本 **けいりん**
ニュース

一周400冠

電投83#

5/21 **金**・22 **土**・23 **日**

場外発売

全国

38ヶ所の競輪場
67ヶ所のサテライト

※発売日等の詳細はkeirin.jpをご確認下さい。

S級戦展望

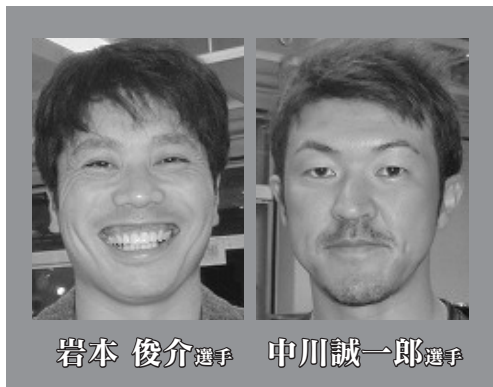
昨年は新型コロナウイルス感染防止のため中止された矢村正杯、2年越しと言う事で凄いいメンバーが集結。ジャパンカップを兼ねており、記念並の場外展開。夜は前橋記念(三山王冠)と、豪華2本立に成っています。

主役は特別(Gー)日本選手権・高松宮記念杯・全日本選抜Vだけでなく、オリンピック2度参加のヒーロー**中川誠一郎**(熊本)。昨年はスランプ期間が長引き、S・Sの座を明け渡しましたが、今年は1月小倉F1優勝を皮切りに復活は急。久留米で開催された熊本記念は3度Vと相性も良い。それに、頼もしい後輩**松川高大**・**上田堯弥**・**松岡辰泰**が前で頑張ってくれるのは百人力。

今年の実績は中川を大きく上回っているのは千葉輪界の雄、**岩本俊介**。そのパワーは間違いなく今回No1。**武田憲祐**(神奈川)が連携。関東からは自力型、**吉田拓矢**(茨城)。後は僚友、**菅澤辰弘**(茨城)に捲り兼備の**柿澤大貴**(長野)。

北日本は**坂本貴史**(青森)の自力には110点レーサー**和田圭**(宮城)。四国は強力布陣。先行レーサー**島川将貴**(徳島)には何時迄も強い**香川雄介**(香川)に不死鳥、**湊聖二**(徳島)、そして痛烈捲りの**久米康平**(徳島)。

瀬戸内の絆で四国と連携する中国の柱はスター**岩津裕介**(岡山)。佐伯辰哉・**西岡拓朗**の**広島コンビ**。前を抜けない**メーカー柴田洋輔**(東京)、スランブは深刻な**嵯峨昇喜郎**(青森)迄が1班。



岩本 俊介選手 中川 誠一郎選手

2班で活躍するのは、上田・松岡の熊本コンビは別格として、ウイナーズカップにも出場した**山中貴雄**(高知)。立ち直り著しい地元ベテラン**合志正臣**(熊本)。ふくらはぎ筋断裂の後遺症で3割も戻ってない**坂本亮馬**(福岡)も注目。一人。悪くない**小岩大介**(大分)。久留米バンクに強い**山本直**・**黒田淳**の**岡山コンビ**。好調、**吉永好宏**(広島)。巧者、**江守昇**(千葉)。そしてムラでもツボにはまった時のパワーは凄まじい**伊早坂駿一**(茨城)は準決進出の有力候補。

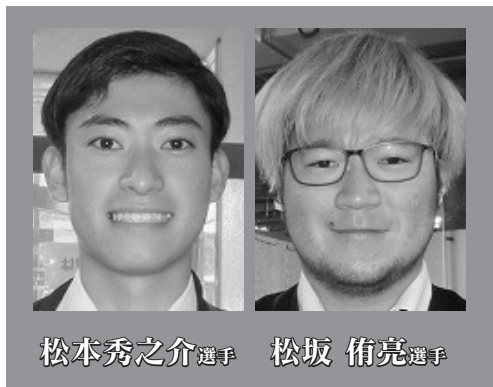
A級戦展望

A級戦も中部・近畿地区を除きほとんどの全国幹旋。遠く北からは自力の**井上公利**(宮城)には堅実、**榊枝輝文**(福島)。

関東は地味でも力ある**山崎寛巳**(新潟)、**土屋仁**(茨城)が1班。

南関東からは快進撃が続く115期のホープ**松坂侑亮**(神奈川)が久留米初登場。実兄**洋平**(89期)と練習する事で兄を上回るパワーを身に付けており、Vの有力候補。後は復調、**高橋隆太**(静岡)。

瀬戸内は自力型、**山崎駿哉**(岡山)。迎え撃つ九州はこゝ迄に特別昇進を決めて無ければ大ホープ**松本秀之介**(熊本)。先行より捲りの威力は現時点でもS級1班上位。連携するのは**曾我圭佑**(熊本)に**松本大地**(熊本)のトリオ。



松本 秀之介選手 松坂 侑亮選手

S級出場予定選手

級班	選手名	年齢	府県	期別	脚質
S1	香川 雄介	46	香川	76	差
S1	中川誠一郎	41	熊本	85	捲
S1	湊 聖二	44	徳島	86	差
S1	岩津 裕介	39	岡山	87	差
S1	和田 圭	35	宮城	92	差
S1	柴田 洋輔	35	東京	92	差
S1	武田 憲祐	38	神奈川	93	差
S1	坂本 貴史	32	青森	94	自
S1	岩本 俊介	37	千葉	94	先
S1	松川 高大	32	熊本	94	捲
S1	芦澤 辰弘	32	茨城	95	差
S1	柿澤 大貴	31	長野	97	差
S1	西岡 拓朗	37	広島	97	差
S1	久米 康平	29	徳島	100	捲
S1	吉田 拓矢	26	茨城	107	先
S1	佐伯 辰哉	24	広島	109	自
S1	島川 将貴	26	徳島	109	先
S1	嵯峨昇喜郎	22	青森	113	先
S2	室井 竜二	50	徳島	65	差
S2	岡部 芳幸	50	福島	66	差
S2	那部 英治	51	広島	68	差
S2	江守 昇	46	千葉	73	差
S2	丹波 靖貴	46	岡山	74	差
S2	吉永 好宏	46	広島	80	差
S2	梅原 大治	44	静岡	81	差
S2	合志 正臣	43	熊本	81	差
S2	山信田 学	44	埼玉	83	差
S2	上吹越直樹	39	鹿児島	86	自
S2	藤原 浩	41	高知	87	差
S2	五日市 誠	36	青森	89	差
S2	伊藤 大彦	37	徳島	89	差
S2	山中 貴雄	38	高知	90	差
S2	坂本 亮馬	36	福岡	90	差
S2	小岩 大介	37	大分	90	差
S2	竹山 陵太	36	宮城	91	捲
S2	栗田 貴徳	37	愛媛	93	差
S2	阿部 兼士	37	福岡	93	差
S2	古川 貴之	37	佐賀	93	差
S2	小川 祐司	38	愛媛	96	先
S2	黒田 淳	36	岡山	97	差
S2	志村 龍己	34	山梨	98	差
S2	花田 将司	34	千葉	99	先
S2	山本 直	28	岡山	101	先
S2	伊早坂駿一	26	茨城	105	先
S2	能代谷 元	32	神奈川	111	捲
S2	今岡 徹二	26	広島	111	先
S2	薦田 将伍	23	愛媛	113	先
S2	上田 堯弥	23	熊本	113	先
S2	松岡 辰泰	24	熊本	117	先

A級出場予定選手成績上位ベスト10

級班	選手名	年齢	府県	期別	脚質
A2	松本秀之介	21	熊本	117	先
A1	松坂 侑亮	23	神奈川	115	先
A1	曾我 圭佑	27	熊本	113	捲
A1	高橋清太郎	36	岡山	97	差
A1	松本 大地	43	熊本	81	差
A1	高橋 隆太	38	静岡	90	差
A1	山崎 駿哉	23	岡山	113	先
A1	井上 公利	39	宮城	93	先
A1	板崎 佑矢	33	愛媛	101	先
A1	安本 昇平	26	山口	113	先



級班	選手名	年齢	期別	脚質
S1	中川誠一郎	41	85	捲
S1	松川 高大	32	94	捲
S2	合志 正臣	43	81	差
S2	上田 堯弥	23	113	先
S2	松岡 辰泰	24	117	先
A1	時松 正	49	67	差
A1	松本 大地	43	81	差
A1	曾我 圭佑	27	113	捲
A2	松本秀之介	21	117	先

主力選手の横顔

◎中川誠一郎(熊本) 41才 85期生

熊本大地震直後の静岡ダービーを神風捲りで制覇した後も、岸和田高松宮記念杯・別府全日本選抜の3冠に輝く熊本輪史最強のスター。戦法は外オンリーの縦勝負なので、信じられない負け方をする反面、ツポにはまった時のパワーはオリンピック2度出場した天性の物が、地の利でVの一番手。

◎岩本俊介(千葉) 37才 94期生

前を取り、引いての捲り一辺倒でも1班を堅持していた素材を開花させたのは千葉支部長の中村浩士(79期)。自宅に設置した低酸素ルームで鍛え上げただけでなく、早朝からバンクを乗り込み、合い間に闘魂を注入する事でトップスターに。南関東一の郡司浩平に遜色無いパワーで狙うは優勝のみ。

◎吉田拓矢(茨城) 26才 107期生

107期No1で卒業した逸材は順調に成長。記念初Vこそ昨年暮の佐世保と遅かったが、特別優出にF1の優勝と常にトップを形成して来た実力新鋭は努力を惜まず、次弟(昌司)に次いで3番目弟、有希(119期)が卒業して来た事もあり、張り切る材料ばかり。当然Vの一角。

◎岩津裕介(岡山) 39才 87期生

岡山輪界の第一人者として後輩を鍛え乍ら、自らもやれるだけの努力を怠らないのがこの点数。目標不在の時は何時でも捲りを出す準備はして居り、久留米は昨年6月記念の準決勝で清水裕友の捲りを抜いて決勝進出を果たした得意バンク。今回は四国との連携で大暴れ。

◎和田 圭(宮城) 35才 92期生

弟子を育て乍ら頑張ってる証が110点前後の高得点。絶対にあきらめない勝負根性で優勝を物にするケースは多く、穴党には人気あったのに、何があったのか、3月は珍しく不振だった。体調を整えて練習したのであれば、過去に久留米バンクを走った時は悪かった事はないのがこれ迄。

◎香川雄介(香川) 46才 76期生

歳下の小倉竜二をライバル視して、密に連絡取り合い切磋琢磨しているのが衰え知らずの脚力。その最たる例が全日本選抜の1次予選で、任せた太田竜馬が目前で落車しても慌てず騒がず、避けて前を追うや3半捲りを決めたのにはビックリ。今回は四国の軸として決勝進出。

◎島川将貴(徳島) 26才 109期生

小松島競輪場は大工事で使えないと判り、早速高松に部屋を借りて、バンク練習だけでなく、街道を朝暗い内から陽が落ちる迄乗り込んでただけあって、強靱なパワーにスタミナは満点。欠点はフレーム・セッティングに悩み過ぎる事だが、シンプルに逃げた時は同型のライバルには負けない。

◎芦澤辰弘(茨城) 32才 95期生

兄大輔(90期)の後を追って選手を志しただけあって根性と練習量でS級上位に定着、昨年8月に結婚した事も好調の要因で、3月の地元取手F1は長島大介の逃げを抜いて渡邊一成・小川真太郎を相手に今年初優勝。久留米は昨年10月の熊本記念を走り、落車・失格して以来ならリベンジの3日間。

◎松川高大(熊本) 32才 94期生

熊本輪界の若大将も三十路と成り、それは高校の後輩、瓜生崇智(109期)に譲り、現在は早く中川誠一郎を追い越したいで練習の毎日。それが捲り一辺倒から捌きを取り入れ、積極的に逃げもやるオールラウンダーに変身中。今回の気持ちは後輩、上田堯弥・松岡辰泰を使える有利。

テレビ実況中継

CS中継

スピードチャンネル

全日 691CH 10:00~17:00

予想紙の無料配信

熊本の地元予想紙(コンドル・読売)の無料配信中。選手のコメントも満載!是非ご利用ください。

